



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～

カスリン・アイオン台風70年

# 水防災フォーラム

日時

平成29年

9/9 土

10:00～16:30

参加費無料

会場

一関文化センター  
【大ホール】

〒021-0884

一関市大手町2-16

TEL.0191-21-2121



GoogleMapで見る

無料  
シャトルバス運行  
(会場 ↔ 一関市役所)

会場の駐車場はスペースが少ないため、満車の際は周辺の市営・民間の駐車場をご利用ください。また、一関市役所～会場間で無料シャトルバスを運行いたしますので、こちらをご利用ください。

13:00～ 基調講演



「カスリン・アイオン台風70年に思う」

【講師】高崎 哲郎 氏

■ 作家・土木史研究者

「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」  
～自分の命は自分で守る!～

【講師】大隅 智子 氏

■ 気象予報士・防災士

NHK盛岡放送局  
「おぼんですいわて」の  
気象キャスターとして出演中!



15:15～ パネルディスカッション

テーマ  
「水防災意識社会」の再構築を考える

- コーディネーター 平山 健一 氏 岩手大学名誉教授
- パネラー 佐藤 暁 氏 一関商工会議所会頭
- 辻山 慶 治 氏 中里まちづくり協議会会長
- 大隅 智子 氏 気象予報士・防災士
- 八重樫 弘明 氏 岩手県県土整備部河川港湾担当技監
- 清水 晃 氏 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所長

風化させない歴史とつなげる未来

開催主旨

昭和22年・23年に相次いで来襲したカスリン・アイオン台風は、各地で甚大な被害をもたらした。

それから70年が経過し、水害の常襲地帯だった一関・平泉地区では、遊水地や堤防などの治水施設を原風景と捉える世代となり、水害に対する防災意識は薄れつつある。一方で、短時間の集中豪雨や局所的な豪雨等により、施設機能を上回る洪水の発生頻度が高まることが予測されている。

そこで、カスリン台風から70年の節目に、これまでの水災害の教訓と近年の気象状況などを知り、そして、地域の未来のために、安全を守る「水防災」を一緒に考えてみませんか。

10:00～ ステージ・アトラクション

- 舞川鹿子躍 ● 一関市消防団纏組
- 平成28年度「土砂災害防止に関する作文」入賞作品発表会
- アイオン台風体験「生きる」  
千葉貞子さんによる紙芝居と体験談
- 「北上川」記録映像放映

終日 展示：1Fホール及び展示室

- 一関市
  - ▶ 一関市立滝沢小学校の学習展示
  - ▶ 防災グッズ展示
- 岩手県
  - ▶ 最近の治水事業について
- 岩手河川国道事務所
  - ▶ パネル展「風水害の歴史を知り、未来の備えに」
  - ▶ 一関今昔写真展「台風被害から70年」



共催 一関市、岩手県、一関商工会議所、北上川「流域圏」フォーラム実行委員会、国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

協賛 (一社)東北地域づくり協会 後援 岩手日日新聞社、岩手日報社、ICN一関ケーブルネットワーク、一関コミュニティFM株式会社

お問い合わせ

一関市 建設部 治水河川課  
TEL.0191-21-8501

岩手河川国道事務所 調査第一課  
TEL.019-624-3166

# カスリン・アイオン台風70年 水防災フォーラム



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』  
～風化させない歴史とつなげる未来～

## プログラム

10:00 ~10:50 ■アトラクション ●舞川鹿子躍 ●一関市消防団纏組



10:50 ~11:00 ■挨拶 ●勝部 修氏 (一関市長) ●高村 裕平氏 (国土交通省 東北地方整備局 河川部長)

11:00 ~12:00 ■作文発表会、アイオン台風体験談  
●平成28年度「土砂災害防止に関する作文」入賞作品発表会 ……県立一関第一高等学校附属中学校  
●アイオン台風体験「生きる」 ……千葉貞子さんによる紙芝居と体験談

12:20 ~12:55 昼休憩 ●「北上川」記録映像放映 (制作後67年となる貴重な記録映像)



かつて北上川は、自然のままの原始的な川であった。その結果、昭和22年から23年にかけて4度も洪水を起こし、700人も人命を奪った。制作後67年となるこの映画は、今なお、「治水」の重要性を強烈に訴えかけてくる。

## ■基調講演

13:00 ~14:00 「カスリーン・アイオン台風70年に思う」  
【講師】 高崎 哲郎氏 (作家・土木史研究者)

1948年栃木県生まれ、NHK政治記者などを経て帝京大学教授(マスコミ論、時事英語)となる。この間、自然災害(水害・土石流・津波など)のノンフィクションや人物評伝等を刊行、著作数は30冊にのぼる。うち3冊が英訳された。著作「沈深牛の如し～慟哭の街から立ち上がった人々～」はカスリン・アイオン台風で被災した一関市の水害とその後の復旧・復興を綴った名著。東工大、東北大などの非常勤講師を務め、明治期以降の優れた土木技師の人生哲学を講義し、各地での講演も多数行う。

14:00 ~15:00 「増え続ける台風・大雨災害と最新の防災情報について」～自分の命は自分で守る!～  
【講師】 大隅 智子氏 (気象予報士・防災士)

広島県生まれ。フェリス学院大学文学部卒業後、NHK松山放送局、北陸放送、NHK-BSニュースで、キャスターやアナウンサーを務める。気象予報士取得。現在、NHK盛岡放送局「おぼんですいわて」を担当。

15:15 ~16:30 テーマ パネルディスカッション  
「水防災意識社会」の再構築を考える

コーディネーター



平山 健一氏

岩手大学 名誉教授

元岩手大学学長  
北上川「流域圏」フォーラム実行委員会委員長  
専門は雪氷工学・河川工学

パネラー



佐藤 暁僖氏

一関商工会議所  
会頭



辻山 慶治氏

中里まちづくり協議会  
会長



大隅 智子氏

気象予報士・防災士



八重樫 弘明氏

岩手県 県土整備部  
河川港湾担当技監



清水 晃氏

国土交通省東北地方整備局  
岩手河川国道事務所長

16:30 ■閉会(挨拶) ●清水 晃氏 (国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所長)

## 会場案内図

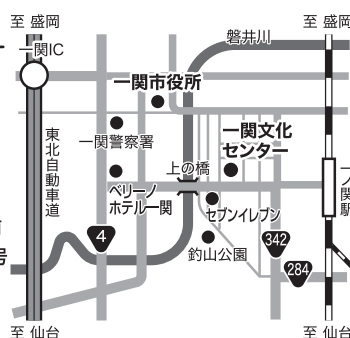
無料  
シャトルバス  
運行します

会場



### ●お車で越しの方

- ▶国道4号からベリーノホテル一関の交差点を一ノ関駅方面に進み、セブンイレブンを通り過ぎたら交差点を左折。
- ▶国道284、342号から一ノ関駅前交差点を西側に進み、2つ目の信号がある交差点を右折。



### ●JRでお越しの方

▶JR一ノ関駅西口から、徒歩5分。

